

セッションの終わりに再度質疑応答の時間をもちたい、と思っておりましたが、これから大使館でまたレセプションがございますので、残念ながらこの辺で打ち切らざるを得ないと考えております。

今回の第 19 回の日伊ビジネスグループミーティングですが、朝からご参加頂いたたくさんの方、そして熱心に発表していただいた方々、ご支援を頂きました皆さま、大変ありがとうございました。おかげさまで大変熱気に満ちた会場がくれたのではないかと考えております。

私の感想を申し上げますと、これから世界はますます競争の時代に入ってまいります。その時代にイタリアと日本という非常に特徴を持った国が連帯をする、またその連帯を緊密化していくことは、ある意味で必然なのではないかと感じるわけです。それならば、それをいかにしてやっていくかということが、これからの 21 世紀の課題であろうと考えています。

その課題ですが、今日一日皆さまの朝からのご発言の中にほとんどのキーワードが含まれていたと思っております。後ほどこれを事務局と共に整理させていただいて、これから実行に移すべきキーワード、あるいはもっと議論を深めるべきキーワードとに分けまして、今後のIJBGの進路を考えていきたいと考えております。

今日は、イタリア側の皆さまのご協力によりましてイタリア文化会館のアニエツリホールを使わせていただきまして、非常にイタリア側のご熱心さにも触れて大変うれしく考えております。

これ以上長く述べることはございませんが、来年はイタリアで行われることとなりますので、ザッパ会長が議長を務めていただくこととなります。来年以降、どのようにこのIJBGを作り替えていくか、あるいは発展させていくかということについて両名の間で議論をしていきたいとお約束しまして、私の簡単なまとめとさせていただきます。

大変ありがとうございました。